





<高田城三重櫓>

## 【高田城】

石垣と天守がない土塁に囲まれた平城

高田城は、徳川家康の六男で初代城主松平忠輝の城で1614年に天下普請として造られました。築城の総監督は忠輝の義理の父、伊達政宗です。13もの大名を動員して、築城期間約4ヶ月という異例の早さで完成しました。北陸と関東を結ぶ交通の要所にあり、加賀百万石の前田家ににらみをきかせ、佐渡の金を運ぶ重要なルートに位置する大切な場所でした。ここに「城下町高田」が誕生し、新しい歴史を刻むことになりました。

## 【今も変わらぬ御旅所祭礼】

松平忠輝公は直江津の福島城から高田へ城を移しました。直江津にとどまった八坂神社の神様は、一年に一度、5泊6日の旅に出られます。乗り物は神輿、目的地は高田と直江津の御旅所(おたびしょ)。旅の目的は旅先で出会う人々の厄をはらい、平和と安全を祈念すること。旅の途中で、若衆に担がれたり、船に乗って川を下ったり…。そして旅を終え、八坂神社におもどりになる。それが祇園祭の特徴「御旅所祭礼」です。

お馬出しの辻で「高田祇園」の御旅所は、400年の間、人々の手によって設置と解体を繰り返し、歴史を刻んでいます。

2017年に祇園祭御旅所祭礼が県無形民俗文化財に指定されました。



<毎年、7月23日～25日の間  
お馬出しの辻に設置される御旅所>

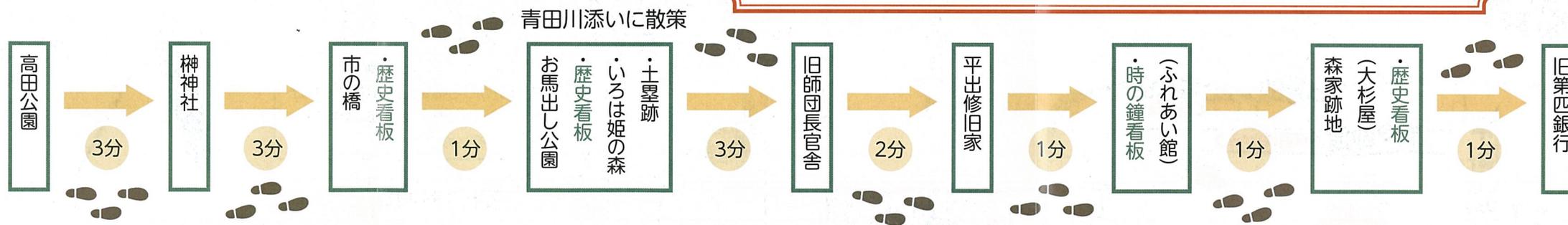


## 【お馬出しの辻】

高田城と城下を結ぶお城の玄関口

お馬出しの辻には、四つ角役の「森・磯野・吉田・池田」四家の大きなお屋敷がありました。その中でも、森家は薬を商い、城下で一番の権力を持ち続けていました。斜め向かいの吉田家の敷地には、「時の鐘」が設置され、吉田家が城下町の時を守ってきました。

お馬出し界限  
散策コース



五郎八姫にでも花魁にでも変身させちゃうよ～。観桜会での「城下町高田はお江戸でござる」のステージをお楽しみに!

美容師のスペシャリスト  
マツノ美容室 加原ティ子さん



驚いたね! 私が住んでいるこの通りがお江戸の頃は城下町で一番賑やかなメインストリートだったとは。

昔から原田観音さんと呼ばれているお宅の鍼灸師 原田次郎さん



お馬出しは、歴史あるお店がいっぱい。うちだって200年前から続く「もちや」だよ～。うちの花見団子は最高!

元気いっぱい もちやのおかみさん  
有澤公湖(きみこ)さん



高田は、歩いて楽しむのにちょうどいい町だね。人も優しくいいね。

古い家具欲しいです。

最近古い町屋の住人になった  
ニュージーランド出身のクリス・フィリップスさん